イワアカバナ

Epilobium cephalostigma Hausskn.

本県は分布の南限域にあたる。生育地は希で,個体数も少ない。渓谷 沿いや林縁に生育しているため、植生の遷移の影響を受けて消滅した 所もあり,絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布

九重火山群,由布·鶴見火山群,大分川·大野川丘陵地

分 布 域

北海道 本州 九州(大分)

朝鮮半島,中国・中国(東北部),ウスリー,樺太,南千島

アカバナ科 Onagraceae

生育環境

低山地や山地の渓谷沿いの岩場や林縁。

カテゴリー

大分県 IB 環境庁 掲載なし 現

状 │ 生育地は崖崩れや植生遷移の進行による環境の変化で, 生育状態が安

定していない。

備

「大分川・大野川丘陵地」に分布するケナシイワアカバナ(var. nudicarpum)を含む。

ヒメビシ

Trapa incisa Sieb. et Zucc.

選定理由

本県では生育するため池は少ない。水環境の悪化や,他の水生植物との 競合,あるいは虫の食害を受けるなどして,生育状態に著しい消長がみ られ,絶滅の危険性が高い。

県内分布

耶馬渓地区,中津·宇佐低地,日田低地·丘陵地

アカバナ科 Onagraceae

分 布 域 │ 北海道 本州 四国 九州(福岡·佐賀·熊本·大分)

朝鮮半島,中国(東北部),ウスリー,台湾

カテゴリー

大分県 IB 環境庁 ||

生育環境 低地のため池。

現

| 生育する水草との競合や虫の食害で , 消滅寸前の生育地がある。

タチモ

Myriophyllum ussuriense (Regel) Maxim.

選定理由

県内分布

(中津·宇佐低地)

アリノトウグサ科 Haloragaceae

分 布 域 | 北海道 本州 四国 九州(福岡·大分)

朝鮮半島 ,台湾 ,中国(東北部) ,ウスリー ,アムール

カテゴリー

大分県 情報不足 環境庁 準

生育環境

低地のため池。

現 「中津・宇佐低地」の標本はあるが、その後生育地の状況が変わり、 生育状態は把握されていない。